

「4次元サイバーシティの活用に向けたタスクフォース」開催要綱

1 目的

「4次元サイバーシティの活用に向けたタスクフォース」（以下「タスクフォース」という。）は、「宇宙利用の将来像に関する懇話会」（以下「懇話会」という。）のタスクフォースとして、懇話会における検討内容のうち、現代社会が抱える社会的問題の解決に向け、宇宙データの利用方法、その実現のために必要な研究開発の在り方や研究機関の役割について、より専門的な観点から検討を行うことを目的とする。

2 名称

4次元サイバーシティ[※]の活用に向けたタスクフォース

※ 宇宙データによる3次元空間の把握と、AI解析による時系列変化の自動抽出等により、4次元（3次元+時間軸）的に様々な情報の把握を可能とするもの。

3 構成員等

タスクフォースの構成員は、別紙のとおりとする。

4 運営

- (1) タスクフォースの主査は、懇話会の座長が指名する。
- (2) 主査は、必要があると認めるときは、主査代理を指名することができる。
- (3) 主査は、必要に応じて構成員以外の関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。
- (4) 主査は、タスクフォースを招集し、主宰する。
- (5) 主査代理は、主査を補佐し、主査不在のときは主査に代わってタスクフォースを招集し、主宰する。
- (6) タスクフォースにおいて検討された事項については、主査がとりまとめ、これを懇話会に報告する。
- (7) その他タスクフォースの運営に必要な事項は、主査が定めるところによる。

5 議事等の公開

- (1) タスクフォース及びそこで使用した資料については、次の場合を除き公開する。
 - ① 公開することにより当事者及び第三者の権利若しくは利益又は公共の利益を害するおそれがあると主査が認める場合
 - ② その他非公開とすることが必要と主査が認める場合
- (2) タスクフォース終了後、議事要旨を作成し、公開する。

6 スケジュール

タスクフォースの開催期間は、平成30年2月から同年夏頃までを目途とする。

7 事務局

タスクフォースの事務局は、国際戦略局宇宙通信政策課が行うものとする。
また、株式会社NTTデータ経営研究所が支援することとする。

「4次元サイバーシティの活用に向けたタスクフォース」構成員名簿

(敬称略、五十音順)

	阿部 侑真	国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター 宇宙通信研究室 研究技術員
	荒井 誠	株式会社電通 宇宙ラボ 主任研究員
	石田 真康	A. T. カーニー株式会社 プリンシパル
主査代理	岩崎 晃	東京大学大学院工学系研究科 教授
	黒田 有彩	宇宙タレント
	齋藤 尚子	千葉大学環境リモートセンシング研究センター 助教
	酒匂 信匡	キヤノン電子株式会社 衛星システム研究所 所長
	洲濱 智幸	株式会社パスコ 衛星事業部システム技術部 副部長
	内藤 一郎	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門衛星利用運用センター センター長
主査	中須賀 真一	東京大学大学院工学系研究科 教授
	三好 弘晃	日本電気株式会社 宇宙システム事業部 事業部長代理
	森信 拓	NTTコミュニケーションズ株式会社 経営企画部IoT推進室 担当部長
	八木橋 宏之	スカパーJSAT株式会社 衛星技術本部イノベーション推進部 部長代行
	柳原 尚史	株式会社Ridge-i 代表取締役社長
	吉川 真	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 准教授
	渡辺 公貴	株式会社タカラトミー 研究開発部 専門部長
オブザーバ	内閣府	宇宙開発戦略推進事務局
	内閣府	政策統括官(防災担当)付
	文部科学省	研究開発局宇宙開発利用課
	経済産業省	製造産業局航空機武器宇宙産業課宇宙産業室
	気象庁	観測部気象衛星課
	株式会社NTTデータ	経営研究所